

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受付番号								
		※法定番号		高・大 第 号						
		ふりがな		性別						
		氏 名								
生年月日		年 月 日 (満 歳)								
在 学 学 校	立		本 籍							
	部 科 学年		現 住 所		電話番号 ()					
同上の所在地		希望事項		貸与月額 円						
				貸与期間 年 月から 年 月まで						
				大学等入学一時金 円						
家 族 の 状 況	氏 名 <small>(生計維持者と別居している者にはX印をつけること。)</small>	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 学 校	疾病の有 無	収入(税込)額 千円	所得(税込)額 千円	※	
	1	本人								
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
計 名										
連 帯 保 証 人	ふりがな				保 証 人	ふりがな				
	氏 名					氏 名				
	生年月日	年 月 日 (満 歳)				生年月日	年 月 日 (満 歳)			
	本人との続柄	年間収入(税込)	千円			本人との続柄	年間収入(税込)	千円		
	本 籍					本 籍				
	現 住 所	電話番号 ()				現 住 所	電話番号 ()			

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参 考 事 項	奨学金を希望する理由				
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有・無	修学のための資金の名称		資金の種類
					貸与・給付
					貸与・給付
					貸与・給付
	本人の履歴	年 月 日	履 歴		
		年 月 日	立 中学校入学		
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
年 月 日					
年 月 日					
年 月 日					
1 カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円	
	アルバイト等から	円	交 通 費	円	
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円	
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円	
			そ の 他	円	
	計	円	計	円	
<p>以上の記載事項に相違ありません。 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。</p> <p>上記のとおり保証人と連署して誓約します。</p> <p>年 月 日</p> <p>福島県教育委員会教育長</p> <p style="text-align: right;">申 請 者 (自 筆) ⑩</p> <p style="text-align: right;">連 帯 保 証 人 (自 筆) ⑩</p> <p style="text-align: right;">保 証 人 (自 筆) ⑩</p>					

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在學生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

奨学生願書（裏）の記載例

〔大学等入学一時金・大学等奨学資金(予約)〕

今年度貸与または申請中の奨学金の有無を○で囲んでください。
 「有」の場合は、奨学金名を記入して、奨学金の種類を○で囲んでください。
 ※「高校生等奨学給付金」は記入不要。

兄が県外の専門学校に在学しており、また、父が単身赴任中であることなどから、少しでも家計の負担を少なくするため、奨学金を希望します。

奨学金を希望する理由	現在受けている、又はこれから受ける奨学金の種類	奨学金の種類 貸与・給付 貸与・給付
	修学のための資金の名称 日本学生支援機構(第二種)申請中 福島県奨学資金(高校)貸与中	
本人の履歴	年 月 日	履歴
	H26 年 4 月 1 日	〇〇市立 〇〇中学校入学
	H29 年 3 月 31 日	〇〇市立 〇〇中学校卒業
	H29 年 4 月 1 日	〇〇県立 〇〇高等学校入学
	R2 年 3 月 31 日	〇〇県立 〇〇高等学校卒業予定

項目	入		出		備考
	収入	支出	収入	支出	
1カ月当たり の平均奨学費 (収入=支出)	家庭から 80,000円	生活費 60,000円	アルバイト等から 40,000円	交通費 5,000円	
	奨学資金から 40,000円	学校納付金 90,000円	その他から 円	書籍・学用品 5,000円	
	計	計	計	計	
	160,000円	160,000円	160,000円	160,000円	

採用された場合の奨学資金額を記入して下さい。
 ※例は私立大学の場合

申請時にわかっている範囲で、毎月の奨学資金の利用予定を記入してください。
 「収入計」と「支出計」が同額になるよう内訳を計算してください。

以上の記載事項に相違ありません。
 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り、奨学生としての責務をはたすこととはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。
 上記のとおり保証人と連署して誓約します。

署名日を忘れずに！

令和〇年〇月〇日
 福島県教育委員会教育長

申請者 (自筆) 福島 太郎
 連帯保証人 (自筆) 福島 大介
 保証人 (自筆) 郡山 俊夫

- 必ず自筆で署名。
- 申請者(生徒)、連帯保証人、保証人は、必ず別々の印鑑で押印してください。
 (印影が不鮮明な場合は、余白に押し直し)
 ※兄弟姉妹で同時申請される場合は、生徒同士も別々の印鑑で押印。

福島県奨学生推薦調書														
氏名				在学 学校	立						部 制	科	年	
出身（在学） 学校の成績	教													
	科													
	年													
	年													
	教													成績 平均値
	科													
年														
年														
推薦所見 〔学力〕 〔人物〕 〔家庭状況〕														
参考事項		（在学学校の学業成績の席次 人中 位）												
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">学校長（学長） 印</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>														
※ 判定														

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

福島県奨学生推薦調書記載例

〔大学等入学一時金・大学等奨学資金(予約)〕

第2号様式(第1条関係)

※受付番号

在学する学校で作成してください

※高校の場合は科目

1, 2年次の全履修科目の成績を学年、教科ごとに記入してください。高校においては、教科を科目に読み替えて、記入してください。また、すでに卒業している場合は最終2カ年の成績を記入してください。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

日付、学校名、校長名の記入と職印の押印を、忘れずにお願いします。

記入もれ注意。
既卒者の方は、「卒業」と記入。

「成績平均値」の欄は、全履修教科(科目)の評定の合計を全履修教科(科目数)で割った値(小数点第2位で四捨五入)を記入してください。

席次を含めて、参考事項がない場合は無記入で不要です。

氏名	福島 太郎		在学 学校		〇〇県立 〇〇高等学校		部 〇〇科		〇〇科 3年		
	教 科	1年	2年	教 科	1年	2年	教 科	1年	2年	成績平均値	
出身(在学)学校の成績	国語総合	4		世界史A	3		科学基礎				3.7
	現代文B		3	古典B		3	数学Ⅱ				
推薦所見 (学力・人物・家庭状況)	生物基礎	4	4	保健	4	4	英語表現Ⅰ	3			
	生物	4	4	体育	4	4	英語表現Ⅱ	3			
参考事項	1年			現代社会	3		数学Ⅰ	4			
	2年			日本史B	3		ケコミ英語Ⅰ	3			
				ケコミ英語Ⅱ	3		家庭基礎	5			
				ケコミ英語Ⅲ	4						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						
				英語表現Ⅰ	3						
				英語表現Ⅱ	3						

口座振替による支払申出書〔債権者登録(変更) 申請書〕
 【 福島県奨学資金用 】

福島県財務

区分	処理	債権者	コード
4	0	1	

C# 注： 姓と名の間は1文字あけて記入してください

フリガナ

生徒氏名

C# 1

執行機関	会市区分	住所	コード	郵便番号
フリガナ		都府県		

注： 都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目（県外の場合は区市町村まで）を記入してください

住所

フリガナ

注： 番地を省略せず記入してください（県外の場合は大字以下の住所を記入願います）

番地

フリガナ

方書

注： 市外局番からハイフンなしで記入してください

電話番号

C# 3

支払方法

1. 口座振替

金融機関名	店舗名	金融機関コード
預金種別	口座番号(右づめ)	
1. 普通預金 又は 総合口座	口座番号(右づめ)	
口座名義人 (※ 生徒本人名義をカナで記入)		

備考

執行機関名 高校教育課

決定番号	学校名
大第	
号	

記入上の注意

- 裏面の記載例を参考に、色のついた欄を記入してください。
- 生徒の住民票住所の記載どおり、そのまま写してください。
- 右下の生徒署名/日付/捺印のもれ注意。

※ 金融機関へのお願について
 金融機関は、左記の金融機関名、店舗名、金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ) について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

金融機関確認欄	
確認日	確認者印
金融機関名	
店舗名	

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のA4コピを必ず添付してください。（金融機関確認は不要）
 ※ 口座番号を訂正した場合や銀行窓口に向くことができない場合は、通帳（銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁）のA4コピを添付してください。

福島県知事 上記のとおり申請します。

令和 年 月 日

氏名 印

居 住 証 明 書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地

3 居住の期間

年 月 日から現在（ 年 月）まで

年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主）

住所

氏名

印

※ 住民票を異動せずに居住地を変更する場合は、住居の管理者の証明が必要です。

※ 様式は任意ですが、この様式をそのまま使用して構いませんので、必ず提出してください。

(注) 該当者のみ提出

特別の事情にかかる経費内訳

令和 年 月 日

福島県教育委員会教育長

(生徒名)

申請者 _____

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

〔該当項目〕	※該当する項目の番号に○をつけてください。
1 障がい者がいる。	(該当者 分)
2 長期療養者がいる。	(該当者 分)
3 家計支持者が別居している。	
4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。	

(単位:円)

年・月						月計
令和 年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
領収書計						
年間推算額						

(注1)「障がい者がいる場合」：障がい者手帳のコピーを添付してください。

(注2)「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(申込時まで6か月以上継続療養中のもの)」を添付し、年間所要見込額を推算してください。

※「障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。

(注3)「家計支持者が現在別居している場合」：表に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々最新の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。

(注4)「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。

